

湖水を渡る風〜画図小学校通信〜

第一〇号 平成三〇年六月二十六日

文責・発行 校長 清田浩文

徒歩で登下校を！

梅雨に入り、気になっていることがあります。それは、雨天の際に自動車でも私たちを送迎される保護者がとても多いということです。

本校には、やむを得ず健康上の理由により日頃から自動車で送迎してもらっている子どもがいます。

しかし、そのような事情がないのに、「雨が降っているから」あるいは「子どもが寝坊をしたから」、「暑くてきつい」と言っているから」といった理由で、自動車で学校まで送るというのは、いかなるものでしょうか。

熊本市内には、四キロ以上の道のりを徒歩で通学している子どもたちもいます。しかし、本校区の場合、最も遠い所でも三キロ以内です。

私自身、毎朝複数の町内を徒歩で巡回して登校指導をしています。一町内のなぎさ保育園や一四町内の公民館でも三〇分以内で移動できています。(もちろん、大人と子どもでは歩く速度が違いますが・・・)

徒歩で通学することにより

- ・ 体力がつかます。(往復で四〜五〇〇〇歩ほど歩くことができます。)
- ・ 肥満防止になります。(往復で一〇〇キロカロリー程度消費できます。)
- ・ 自然の移り変わりを体感することができます。(気温の変化・植物のにおい・風の強さや温度・日照時間の変化・さえずる鳥の声の変化等。)
- ・ 近所の人たちと顔なじみになります。(安全確保の観点からも重要なことです。)
- ・ 少々のきつさが苦にならなくなります。(自動車での移動に慣れると少しの距離を歩くことも苦になるようになってしまいます。また、暑さや寒さに弱い子どもにもなっています。)

子どもは不自由・不自由な思いを経験することとたくましくなります。特別な理由がない場合、自動車による送迎はご遠慮ください。

六月一五日(金)、「ホンモノにふれ感性を育む授業づくり」の一環として、劇団回転社の皆さんに來校していただき、「どんぐりと山猫」のミュージカルを観賞しました。よく響く美しい歌声、切れのあるダンス、凝った舞台装置、まさに「ホンモノ」にふれることができ、子どもたちは目を輝かせて見入っていました。詳しい感想も書くことができました。

六月一九日(火)に五年生が田植えをしました。あいにく断続的に雨が降る状況での田植えとなりましたが、水田を提供してくださる南さんが、簡易レインコートを全員分用意してくださり、予定通りに田植えを終えることができました。ほとんどの児童が初めての体験ということで、最初は苦労していましたが、泥んこになりながらも、どうにか植えることができました。秋の収穫が楽しみです。

先週から各学年でプール開きを実施してきましたが、昨日の三年生のプール開きで全学年がそろいました。これから暑さが厳しい日が続くことが予想されますが、週に三回実施されるプールでの学習により、心身ともにリフレッシュしてほしいと思います。また、泳力を高め、海や川や学校以外のプールに行っても「自分の命は自分で守る」ことができるようになってもらいたいと願っています。

画図小学校ホームページでは、毎日スライドショーを更新しています。

今週は

朝のパワーアップ・タイム

ガーデニングクラブによるひまわり

一年生がお世話している朝顔

二年生がお世話しているキュウリ

四年生がお世話しているゴーヤ

名文並びに詩の暗唱

みどり委員会によるジャガイモの収穫の様子を紹介しています。

「画図小学校」で検索できます。ご覧ください

「画図小学校」で検索できます。ご覧ください。また、本校の教育活動へのご意見・ご感想も、よろしく願います。

